生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	うつ伏せ乳房 MRI 検査におけるボリュームデータの解析		
1.研究の目的と方法	乳房 MRI 検査では乳房を全て含むように撮像するため、乳頭部から胸壁までの範囲を Localizer（診断に必要な画像を撮像するための位置決め画像）で把握する必要があります。Localizer は検査時間を短くするため、診断に必要な撮像範囲がわかるような断面を、なるべく少ない枚数でスキャンしています。しかし、装置メーカーがアバウトに決めた位置で設定されているため、撮像範囲を決めるには不適な位置となっている場合が多いです。よって、撮像範囲が決定できるまで、Localizer を撮り直すことが必要になり、検査時間の延長につながってしまいます。また、不適な Localizer を基にすることで、診断に必要な画像も範囲が欠損してしまったり余分な範囲を撮像してしまうこともあり、検査のクオリティー低下も懸念されます。さらに、乳房 MRI では、患者さんにうつ伏せになっていただき乳房を下垂させて検査を行いますが、乳房の大きさによって腹側から背側までの長さの個人差も大きいです。そこで本研究では、乳房の大きさに関わらず、どんな患者さんであっても最適な撮像断面を取得できる localizer の位置を検討します。MRI 画像を使って、乳頭部から装置の幾何学的な中心までの長さを測定し、散布図からより多く分布する値を求め、Localizer の最適な撮像位置を決定します。過去に MRI 検査を施行したデータから集計するので、患者さんへの新たな侵襲や介入はありません。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 10 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2025 年 4 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に附属病院にて乳房 MRI 検査を受けた 18 歳以上の方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	年齢、既往歴、MRI 検査の画像所見	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院
		氏名	大滝　正子（診療放射線技師）

	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 8 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院　放射線部 研究責任者：診療放射線技師　大滝　正子（おおたき　せいこ） 電話番号：0570-03-2222（内線 3384） 対応時間：平日 9：00　～　16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。